

# 「次は社長さんから表彰状を」

## ショウワノートキャンペーン全国1位・那覇市立小緑小の真栄平大使

協賛会社のショウワノート（ベルマーク番号53）の第46回（2019年）ベルマークキャンペーンで全国1位となった沖縄県的那覇市立小緑小学校（平敷兼栄校長、児童418人）は、ベルマーク大使の真栄平京子さんが活動の拠点にしている学校です。このほど真栄平さんから、学校に届いた表彰状と、事典・ジャポニカ学習帳などの記念品を前に撮影した写真がベルマーク財団に届きました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年のような表彰式は行われませんでした。真栄平さんは「いつかまた全国1位になり、ショウワノートの社長さんから表彰状を受け取りたい」と話します。

このキャンペーンは、1年間に財団で検収したショウワノートのベルマークの点数を競います。小緑小は、真栄平さんが以前からノートの校内販売に力を入れていることもあり、2015年から4年連続で九州・沖縄地区1位を獲得しました。そして今回の全国1位。「やったーっ、と思いました。今まで地区の1位で満足していましたが、全国というのは、やっぱりすごいことですね。真栄平

さんは「全国1位」「ご協力ありがとうございました!!」の文字が入った横断幕を作り、学校のフェンスに掲示しました。「いまも小緑小は頑張っていることを、卒業生にもぜひ知ってもらいたいです」。

真栄平さんは、お子さんが小緑小に通っていた頃にベルマーク委員長を務め、卒業後も同校を拠点にベルマーク活動を続けています。2018年秋には財団から第2陣のベルマーク大使の一人として任命されました。

今回のコロナ禍は、学校でのベルマーク活動にも大きく影響しているようです。でも「ベルマークは私の生きがい」という真栄平さんは希望を捨てていません。「保護者や先生方の協力があってこそその活動。皆さんへの感謝の気持ちでいっぱい。私はこれからも頑張るので、みんな一緒に楽しく続けていけたらうれしい」。

ショウワノート経営企画部の原田英彦さんは「ぜひ連覇していただき、来年こそお伺いできれば」。真栄平さんは「もしそうなったら『全国連覇』という横断幕を新しく作りますよ」と明るく語りました。



④左から、ベルマーク委員の栗山志奈さん、赤嶺美智子さん、川満恵さん、ベルマーク大使の真栄平京子さん、平敷兼栄校長先生、仲地敬教頭先生  
⑤小緑小のフェンスに貼り出された横断幕

# 寄贈マーク、いつもありがとうございます

## ウエルシアとキリンビバレッジ

全国に2115店舗のドラッグストアを展開しているウエルシアホールディングス(本社・東京都千代田区)と協賛会社のキリンビバレッジ(ベルマーク番号54)は、共同で展開したキャンペーンで集めたベルマーク14万9866点を財団に寄贈しました。

7月14日、ウエルシアホールディングス本社に関係者が集まって寄贈式が開かれ、ウエルシア薬局取締役商品本部長の畑和彦さんに、ベルマーク財団から感謝状が手渡されました。



ウエルシアの店舗で3月2日から5月10日まで実施した「ベルマークを集めて東北復興応援キャンペーン」で、キリンビバレッジのベルマーク4点分を1口としてはがきに貼って応募すると、抽選で東北にちなんだ名産品がもらえるというもので、3万3132通の応募がありました。共同キャンペーンは昨年に続いて2回目。応募総数は前回より1万通以上も増えたそうです。

キリンビバレッジ広域流通営業部課長の松園明子さんは「コロナ禍だからこそ、『何か自分に出来ることはないか』とお客様の意識も高まり、今まで目につかなかったものが目につくようになった結果では」と分析しています。今回寄贈されたベルマークは、すべて東日本大震災被災地のために活用いたします。

## ナックが12年連続

社内で毎年ベルマークを集めて寄贈してくれている株式会社ナック(本社・東京都新宿区)が、今年もたくさんのマークを届けてくれました。ナックからの寄贈はこれで12年連続。干支が一周するほどの長期にわたり、ベルマーク運動を支え続けてきています。同社は他にも様々なCSR活動をしていますが、「一番長く続けているのはベルマークかも」。

同社CSR委員会の白濱夢子委員長と、IR・広報室の松田萌絵さんが7月17日にベルマーク財団を訪れ、ベルマーク16万9千点を寄贈しました。昨年度の1年間、約200の拠点で集めたものだそうです。

「暮らしのお役立ち企業」を掲げるナックは、宅配水「クリクラ」、掃除用具などダスキンレンタル商品、さらに住宅建築、省エネ資材など、住まいと生活を軸に様々な事業を手がけています。従業員は約1500人。CSR委員会は、ちょっとした心がけで気軽に取り組めるボランティアを「ちょいボラ」と称し、ベルマークをはじめ様々な取り組みを進めています。すでに今年度のベルマーク収集も始めていますが、「今は無理して集約せず、個々人で手元にマークを貯めています。早くコロナが終息して、来年まとめてお届けしたいですね」と白濱さんは話してくれました。



## ニチレイが3年連続

協賛会社のニチレイ(ベルマーク番号88)が、グループ企業全体に協力を呼びかけて集めたベルマーク1万5847.2点を財団に寄贈しました。2017年4月に協賛会社になって以来、これが3回目の寄贈です。

社内掲示板を活用し、国内約200の事業所に呼びかけて集めました。人事総務部総務・渉外グループの菅野久美子さんは「呼びかけると、すぐに各事業所からマークが届けられます。とてもありがたく感じています」。

障がい者雇用を促進する特例子会社のニチレイアウラの皆さんが会社・点数別に仕分けしました。作業は延べ45人が参加し、計21時間かけたそうです。

ニチレイが目指すのは「子どもたちの学びや笑顔に少しでも役に立つこと」。菅野さんはそのために、「良い製品やサービスを提供していくことはもちろん、社会貢献のための行動を自然と起こせるような、社内の雰囲気にしていきたい」と考えています。その一歩としてベルマーク収集を位置付けており、「これからも継続して実施していきたい」と話してくれました。



## ◎「本の帯創作コンクール」表彰式は開催せず

「大阪子ども『本の帯創作コンクール』」は、今年度は表彰式を開催しないことになりました。コンクール自体は引き続き作品を募集しています。締切は9月3日、消印有効。審査結果は11月に朝日新聞(大阪本社版)で発表します。賞の中にはベルマーク賞もあります。問い合わせは大阪読書推進会事務局(06-6361-5577)へ。

## 大台達成校

7月		
魚崎小	神戸市東灘区	11,021,473
明倫小	三重県伊勢市	9,001,774
桜台小	神奈川県伊勢原市	7,012,270
少路小	大阪府豊中市	7,010,608
北の台小	神奈川県綾瀬市	6,003,161
大富士小	静岡県富士宮市	6,016,811
玉島小	岡山県倉敷市	6,026,826
愛徳幼稚園	神戸市垂水区	5,013,375
北斗小	北海道根室市	4,032,213
認定こども園わかさ	福島県田村市	4,073,355
宝泉小	群馬県太田市	4,052,786
針ヶ谷小	さいたま市浦和区	4,004,846
五井小	千葉県市原市	4,005,472

藤の木小	横浜市南区	4,005,058
吉田南小	新潟県燕市	4,032,009
北小	愛知県津島市	4,009,526
第2向陽小	京都府向日市	4,023,632
新田小	山口県防府市	4,019,337
久枝小	松山市	4,004,384
三内西小	青森市	3,001,742
吉沢小	水戸市	3,002,457
大穴小	千葉県船橋市	3,014,660
稲荷木小	千葉県市川市	3,009,250
多聞小	東京都世田谷区	3,059,533
三ツ境小	横浜市瀬谷区	3,011,088
荒川小	大阪府東大阪市	3,038,580
江浦小	山口県下関市	3,003,905
湯本第二小	福島県いわき市	2,036,243
吉井田小	福島市	2,004,756
真岡東小	栃木県真岡市	2,009,882

新金岡東小	堺市北区	2,003,606
嘉瀬小	佐賀市	2,011,605
鳴見台小	長崎市	2,011,775
門川小	宮崎県門川町	2,016,364
宮川小	鹿児島市	2,006,553
西小	北海道滝川市	1,006,541
大河原小	宮城県大河原町	1,021,384
大谷北小	栃木県小山市	1,001,174
高井戸第四小	東京都杉並区	1,009,085
小金井第三小	東京都小金井市	1,016,298
菅生小	川崎市宮前区	1,018,975
蝶屋小	石川県白山市	1,010,910
旭小	福井市	1,023,373
聖ドミニコ学院京都幼稚園	京都市上京区	1,033,193
春日幼稚園	京都市右京区	1,004,726
長池小	大阪市阿倍野区	1,011,254

安乎小	兵庫県洲本市	1,014,183
昭和中央小	広島県呉市	1,010,130
宇美小	福岡県宇美町	1,005,054
東与賀小	佐賀市	1,036,587
高城台小	長崎市	1,006,564

## 寄付してくださった方

8月 中林繁治

